

令和7年度

佐賀大学教育学部附属小学校

研究発表会



家庭科当日資料



令和7年7月23日（水）

授業公開 13:30～14:15

研究会 14:30～15:40

場所 家庭科室

家庭科部 川浪 貴保

本時までの児童の学習の歩み

「前題材(手縫い)の学習において、課題を設定する・調整する経験を積む」段階

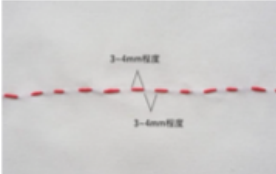
児童にとって自分で課題を設定して、その課題を解決していくことを目指す学習のスタイルは経験が少なかった。そこで、手縫いの題材ではまず課題を設定することの経験を積ませていくことを意識した。どのように課題を設定するとよいのかを学習した。例えば、なみ縫いや返し縫いなどの学習を行った際には、まずは縫い方を学んだ後に試し縫いを行った。その後、教師が縫った見本を提示し、児童は見本と自分の試し縫いを比較しながら、見本に近付けるための自分の課題を発見し、課題設定を行った。

今日の課題



縫い幅をせまくしよう
うまくなろう

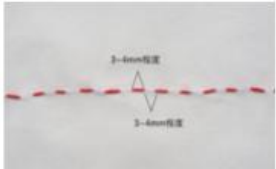
お手本のなみ縫いと比べてみて・・・。
自分のなみ縫いは
どうだろう？



今日の課題

波縫いの「一」と「一」の間をそろえて縫う
「一 一 一 一」←こんな感じにする

お手本のなみ縫いと比べてみて・・・。
自分のなみ縫いは
どうだろう？



次に、課題を調整しながら学習に取り組むという経験を積むことにした。課題設定に比べ、課題を調整するということは、児童にとって初めての経験ということもあり、とても難易度の高いものであった。そこで、前題材では、見直しの時間を一律でとることにした。多くの児童の見直しの視点としては、「課題がどれだけ解決しているか」「(解決ができていた場合)残りの時間でさらにどのようなことを解決できるか」「(解決が難しい場合)この時間でどこまで解決を目指すか」という視点で見直しを行っていた児童が多かった。

今日の課題

ある程度色がついているフェルトを縫えるところまで
行こう。隙間がないようにしよう

一部の色が縫えるところまで行こう

自分の思いを生かした
課題を立ててみよう。

自分が取り組んでいる
ことと課題は合っている
かな？

今日の課題

誰もが欲しい綺麗で強く丈夫『取れにくい』なお財布を作って、最高な1つの作品にしよう。
そして、ようゆうがあれば、バックマンのキーホルダーを作ろう。【完成品が楽しみだ♥】
完璧な作品にしよう。!!!!!!

時間は絶対に合わないので、本体を本のようにするところまでしようと思います。

自分の思いを生かした
課題を立ててみよう。

自分が取り組んでいる
ことと課題は合っている
かな？

本時までの児童の学習の歩み

課題を見直す様子（ランチョンマットの製作計画）

課題を見直し、再調整して課題解決に取り組む様子

ミシンで楽しくソーイング（時間目）		5年（ ）組（ ）番 名前（ ）							
③今日の課題 間違えずに進められるようにとてもいい制作計画を立てよう ①丈夫になるような制作計画を立てよう		①作る目的 （使う場面など） 給食の時間 机を汚さないため	②そのための工夫 （仕上げるポイントなど） ②丈夫にする 給食の時間に使うからきれいにする						
④完成イメージ図 （形や大きさなども書き込もう） 		⑤必要な材料 用具 布 ミシン 糸							
⑥製作手順 <table border="1"> <tr> <td>①しるしを付けて、布をたつ。</td> <td>2 横の上のほうを三つ折りにして縫う</td> <td>3 横の下を三つ折りにして縫う</td> <td>4 横の右のほうを三つ折りにして縫う</td> <td>5 横の左のほうを三つ折りにして縫う</td> <td>6 びらびらになっている部分がないか確認する</td> </tr> </table> どれもおったらまちばりをさす 返し縫は1mmこえる				①しるしを付けて、布をたつ。	2 横の上のほうを三つ折りにして縫う	3 横の下を三つ折りにして縫う	4 横の右のほうを三つ折りにして縫う	5 横の左のほうを三つ折りにして縫う	6 びらびらになっている部分がないか確認する
①しるしを付けて、布をたつ。	2 横の上のほうを三つ折りにして縫う	3 横の下を三つ折りにして縫う	4 横の右のほうを三つ折りにして縫う	5 横の左のほうを三つ折りにして縫う	6 びらびらになっている部分がないか確認する				

上記は、ランチョンマットの製作計画及び見直しをした際のワークシートである。この児童は、最初は「間違えずに進められるようにとてもいい制作計画を立てよう」を課題として設定していた。しかし、授業の途中で自分が工夫したいポイントを見直して、「丈夫さ」が大事だということに気付いた。そこで、残りの時間でランチョンマットを丈夫に仕上げるための課題が必要だと考え、「丈夫になるような制作計画を立てよう」という課題を再設定した。その際に教師が作ったランチョンマットの見本を見て、縫い終わりの部分が1mm 超えてから返し縫いをすることが丈夫に仕上げるコツであることを発見し、製作計画に追記していた。そして、下図が製作計画を見直した際に立てた際の課題である。児童は、はじめに前時の計画で意識した丈夫さを再度確認しながら製作計画を見直すことにした。そして、授業の途中で実際に考えた縫い方で、丈夫に縫えるか試して確かめることにしていた。

今日の課題（どんな所を意識して計画を見直しますか？）	
丈夫になるように制作計画を見直そう	
「ぴったり・丈夫・きれい」 この時間の学習でキーワードになりそうな言葉はどれかな？	
試してみて、丈夫になるか練習してたしかめよう	
自分が取り組んでいる見直しは、課題で意識したいポイントと合っているかな？	

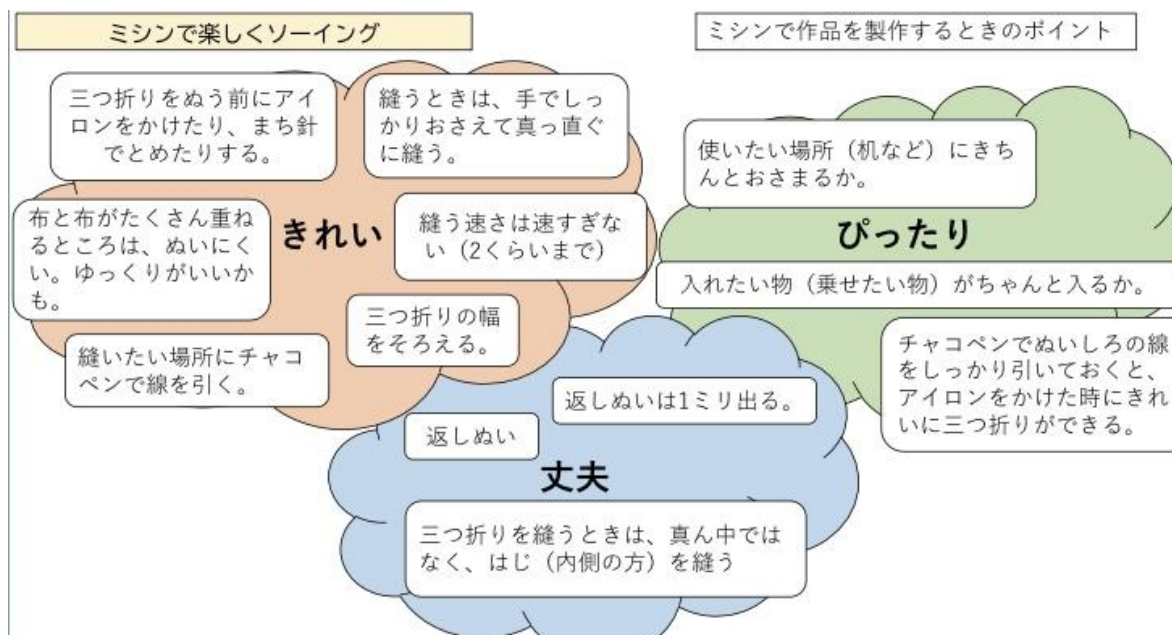
本時までの児童の学習の歩み

ミシン縫いにおける基礎的・基本的な知識・技能を習得する段階

表1 本題材で身に付ける資質・能力

学年		第5学年		第6学年
題材		ソーイングは はじめの一步	ミシンで楽しくソーイング	ソーイングで 生活を豊かに
時間			14	
指導項目	C(4) 衣服の着用と手 入れ	ア衣服の働きと着方 アイ手入れ・ボタン付 け・洗濯	○	
		イ快適な着方・手入れ		
	C(5) 布を用いた製作	ア製作手順・計画 アイ手縫い・ミシン ・用具の取扱い	○	○
		イ製作の工夫	○	○
	その他			
実習題材		コースター ワッペン	ランチョンマット	ブック バッグ
		生活を豊かにする布製品		
製作に関する基礎的・基本的な知識及び技能	C(4)	アイ ボタン付け	○	
		製作手順	○	○8・9
		製作計画	○	○8・9
		布の種類・性質・特徴	○	○3・8・9
		ゆとり		○
		ぬいしろ		○3・8・9
		型紙		○3・10
		アイロン		○
	C(5)	針の扱い方・安全	○	
		玉結び・玉どめ	○	
		なみ縫い	○	
		本返し縫い	○	
		半返し縫い	○	
		しるしを付ける	○	○2・4・6・11~13
		布を裁つ・安全	○	○
		まち針をうつ		○4~6・11~13
		しつけをする		○4~6・11~13
		ミシンの名称・安全		○2
		直線縫い		○2・4~6・11~13
		返し縫い		○2・4~6・11~13
		針を刺して方向転換		○2・4~6・11~13
		三つ折り・二つ折り		○2・4~6・11~13

ランチョンマットの製作を通して、「ミシンの安全な使い方」「直線縫い」「返し縫い」「方向の変え方」「三つ折り」などの基本的な縫い方の知識・基礎的技能を習得した後、生活を豊かにする布製品作りに取り組むようにした。本題材において身につけるべき知識・技能を明確にするために指導表を作成し、用いた（左表）。また、完成したランチョンマットを観察したり、実際に給食で使用したりして製作や出来栄を振り返った。今回は、「きれい・丈夫・ぴったり（使う場所や入りたい物）」がキーワードだったため、その視点で振り返るようにし、それぞれのキーワードの製作の工夫を全体でまとめた（下図）。



本時までの児童の学習の歩み

【生活を豊かにする】視点を考える様子・前時までの製作計画

布製品作りに取り組む前に、「生活を豊かにする」とはどういうことかについて再考した。一度、手縫いの小物作りの際に考えていたが追加・修正した方がよいものはないか全体で検討した。小物作りを行なった際に、様々な視点で製作をしていた児童が多かったので、そのままの視点でいきたいという声が多く、視点は変更せずに使用することにした。しかし児童によっては、図のように自分で必要な視点を絞っていた児童もいた。

ミシンで楽しくソーイング

生活を豊かにする視点を整理してみましょう。

5年()組()番
名前()

ソーイングはじめてのステップ

生活に豊かにする小物を作る

自分生活に役立つ 安く 代わりになる 毎日ハッピー 気持ちよい 生活が楽になる 個性 くらいやれ 楽しい 便利 いごころいい 生活がよりよくなる

前時の児童の作品計画

ミシンで楽しくソーイング

③今日の課題

妹に丈夫にきれいに使ってもらえるような制作計画を立てよう

ぴったりのサイズになるように制作計画を立てよう

①だれに
妹

何を
ウォールポケット

②製作の工夫
(仕上げるポイントなど)

大きなものがしっかり小さいものがたくさん入るようなポケットを作る

どんな場面でも
家でいるんなものがたまってきたとき。整理整頓をするとき

5年()組()番 名前()

④完成イメージ図(形や大きさなども書き込もう)

⑤必要な材料・用具

布 フック ミシン 糸 はり 待ち針

型紙を作って、試しに縫ってみよう

⑥製作手順

①しるしを付けて、布をたつ。

2 下のほうに縫う
3 大きいポケットの右側のほうを縫う
4 下のほうを縫う
5 左側のほうを縫う
6 上のほうに縫う
7 左側のほうに縫う
8 下のほうを縫う
9 左側のほうを縫う
10 真ん中に縫う
11 下のほうを縫う
12 左側のほうを縫う
13 右側のほうに縫う
14 下のほうを縫う
15 ひだり側のほうを縫う
16 ポケットを縫う
17 左側のほうを三つ折りして縫う
18 下のほうを三つ折りして縫う
19 上のほうを三つ折りして縫う

縫うときはまちばりどめ！

児童は、前時に立てた製作計画の見直しを行います。見本を作りながら、自分の課題を調整し、学び進める中で、家庭生活や学校生活を豊かにするための製作の工夫を考える児童の姿をご覧ください。